

## 育児休業の取得について

お疲れ様です。品質管理課の牧です。

ご存知の方もいらっしゃるかと思いますが、私は昨年育児休業を取得させてもらいました。

昨今男性の育休取得は年々増加傾向にあり、2024年の統計では取得率27.3%、平均日数29.9日と6年前と比べ、それぞれ2.8倍、12.6倍となっています。

とはいえた原工業ではまだまだ取得者は少ないため、経験を共有させてもらおうかと思います。

### ○育休を取ろうと思った理由

理由はもちろん「妻の負担軽減と子供の成長を見たい」なのですが、取得してみようかと思ったきっかけは育休取得中でも臨時的な出勤は認められる場合があると知ったことです。

※定期的な出勤とみなされると育休手当が支給されない場合があります。

詳しくは厚生労働省のHPを確認下さい→ [https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_15420.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_15420.html)

一ヶ月であれば所定労働日数の半分までの出勤が認められる産後パパ育休制度というのもあります。

これがあればある程度はトラブル時にも出勤対応できるかと思い、

品管をはじめとした色々な方の協力のおかげで育休を取ることができました。

### ○取得日数

今回私は5月7日～8月31日までの約4か月間育休を取らせてもらいました。

連休や途中での出勤もあり、取得日数でいえば46日なので丸2か月くらいですね。

途中まで結果的に週2ペースで出勤となったためか、

上記の定期的な出勤とみなされてしまい手当については現在再申請という形になっています。

### ○育休中の生活

お世話についてはある程度産院で教えてくれるものかと思っていたが、

全然そういったことはなく、最初はネットで調べながらビビリながらやっていました。

お世話も最初から関わることで、受け身にならず夫婦でやり方を作っていくのは良い経験でした。

最後に私としては育休をとって本当に良かったと思っています。

育休の取得を考えていて、制度のことなど聞いてみたい人がいればお気軽に聞いてきてください。

今回私は場合によっては出勤もありにしましたが、育休は全休が前提の制度という点にはご注意下さい。

取得に対するハードルが少しでも下がればと思い、私の事例を紹介させてもらいましたが、

実際に取得する場合は上司、会社とよく相談してください。

改めて期間中助けて頂いた方々、ありがとうございました。

※制度の詳細については後日別の方からも紹介頂く予定です。